

なら女性活躍推進倶楽部事業【奈良県】



地域の実情と課題

県の女性の就業率は依然全国最下位で、県の調査結果では、固定的性別役割分担意識は減少したものの、全国に比べ依然高く、男女ともワークライフバランスの実現が困難と感じている。一方、未就労の女性の6割が働きたい意向があるが、有効求人倍率は多くの職種で高く、企業では人手不足が深刻となっている。そこで、企業における女性の就業・活躍を阻害する要因を、①女性の希望と企業の求めるものに齟齬があること、②「女性活躍」の必要性を経営者が認識しているところと十分認識していないところが二極化していること、との2点と分析した。

事業の特徴

県内の女性活躍の気運を高めるとともに女性が個々の希望に応じて活躍できる環境を整備するため、官民をあげて取り組む地域における女性活躍の総合的な支援体制として、平成29年12月、「なら女性活躍推進倶楽部」を創設し、県内企業・事業所に会員登録いただき、男性も女性も働きがいを感じ、いきいきと働き続けることができる職場づくりに取り組んでいる。

事業の効果

- ・ジャーナルをターゲットである再就職を希望する女性が目につきやすい、公民館や病院等、合同企業説明会のほか、ショッピングセンター(イオンモール)に配置することができた。
- ・再就職フェスタでは、参加者からヒアリングを行い企業ブースへ誘導する「再就職コンシェルジュ」を配置。参加者55名中5名が実際の就職へ結びつくなど効果がみられた。
- ・倶楽部の統一取組として、オレンジリボン・パープルリボンキャンペーンを実施。計13企業が取組に参加。啓発グッズを窓口に置いたり、HPに取組を掲載したりするなど企業の主体的な取組が目立った。

目的・目標

R6年までになら女性活躍推進倶楽部会員数200という目標を掲げており、2月末の登録数は登録している138の企業等の事業所数で713となっている。目標値に向けて、倶楽部の認知度の向上や事業の充実を図り取組を進めていく。

連携団体

○なら女性活躍推進倶楽部支援団体

- 事業への広報協力 ●女性活躍に向けた取組を実施

【構成】

経済・労働関係	16団体
人材育成関係	2団体
行政	3団体

今後の課題

「なら女性活躍推進倶楽部」は設立より4年が経過し、関係団体とともにさまざまな取組を展開してきた。その中の課題として、1点目は企業の魅力発信の部分で、倶楽部自体の認知度が低く、魅力が県民に伝わりにくいということ。2点目は、企業間交流の促進の部分で、継続的なつながり作りの場が不十分で会員間同士のネットワークが広がっていないということがある。

令和4年度は2点の課題に対して、倶楽自体の認知度を上げる広報機会の創出と、継続的な仕組みづくりを検討し、事業を進めていく予定。

事業の概要

【①企業の魅力発見・発信】

女性の再就職応援ジャーナル「FIELD」 第3号を発行

女性の再就職を促進するため、ジャーナル第3号しました！
企業が求める人材に関する座談会や職場紹介など、多くの会員
企業にご協力いただきました。奈良県には男女とも働きやすい
「フィールド」がたくさんあることを広く発信していきます。



【②働きたい女性が企業と出会う場づくり】

女性のための再就職応援フェスタ in イオンモール大和郡山



お子様連れの方も多く、ベビーカーを押してブ
ースを回る方もいらっしゃいました。
出展企業からは「ブース訪問して下さる方が増
え、手応えを感じた。」と感想をいただきました。

- ◆ 会場：イオンモール大和郡山 イオンホール
- ◆ 参加企業：15企業
- ◆ 参加者：44名
- ◆ 共催：イオンモール(株) イオンモール大和郡山

県内大学で企業と出会うキャリア 構築講座を開催

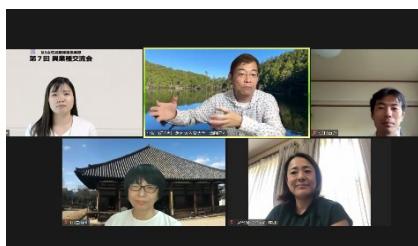


これからの就職活動やライフデザインに活かせる
講座を開催。倶楽部会員企業の若手職員も登場し、
職場環境の良い企業で働く良さを語りました。

- ① 奈良女子大学「女性の多様な生き方・働き方を
考える」 参加者：132名
倶楽部会員企業：社会福祉法人功有会
- ② 帝塚山大学「ジェンダー平等の観点からこれか
らのキャリアを考える」 参加者：162名
倶楽部会員企業：西垣靴下(株)

【③会員間交流による企業のマインド改革】

異業種交流会



第7回「パパ産休ってなんだ!～新しい時代の働
き方と企業のあり方～」(オンライン形式)
講師：大阪教育大学教育学部教授/NPO法人ファ
ザリングジャパン顧問 小崎恭弘さん
パネリスト：(株)テレワークマネジメント代表
取締役 田澤由利さん、男性・女性育休取得者
参加：経営者・管理職 20名参加



第6回「ANAで体験したA&I～キャリアとは、仕事と
は～」(オンライン形式)
講師：ANAあきんど(株)取締役副社長 新居勇子さん
参加：経営者・管理職を目指す女性社員 7企業12名
共催：損害保険ジャパン日本興亜(株)

【倶楽部統一取組】

オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン



今年度初めて、倶楽部統一取組として児童虐待防止月間(オレン
ジリボンキャンペーン)、「女性に対する暴力をなくす運動」(パ
ープルリボンキャンペーン)の啓発活動について、13の会員企業が
企業内外で独自の取組を実施しました。